

1. 件名：福島第一原子力発電所における循環注水冷却・滞留水等に係る定例会
2. 日時：令和3年10月8日（金）10時00分～10時55分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

知見主任安全審査官、新井安全審査官、高松専門職、高木係長、横山係長、  
久川係員

高木技術参与（テレビ会議システムによる参加）

福島第一原子力規制事務所

木村原子力運転検査官（テレビ会議システムによる出席）

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 担当7名（テレビ会議システムによる出席）

#### 5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、資料に基づき、主に以下の説明があった。
  - 1号機 原子炉格納容器（PCV）内部調査にかかる干渉物切断作業の状況について
    - ✓ 本年9月14日から17日にかけて、AWJ（アブレシブウォータージェット）を用いた電線管切断作業を行い、これによりPCV内干渉物切断作業は全ての作業を完了した。
    - ✓ ガイドパイプの挿入作業を本年10月4日から開始し、15日に作業完了を予定している。
  - 2号機オペレーティングフロア（オペフロ）内シールドプラグ穿孔部調査について
    - ✓ 本年8月26日及び9月9日に、既存シールドプラグ穿孔箇所において遠隔操作機器及び計測器を用いて線量調査を実施した。
    - ✓ 調査結果から、シールドプラグ上段と中段の隙間には、セシウムを含む放射性物質が付着、堆積している可能性が高く、シールドプラグ全体では汚染状況のばらつきが大きい可能性があるとして評価している。
    - ✓ 現在、ばらつきを反映した新規シールドプラグ穿孔箇所を決定するためにシールドプラグ上の線量調査を実施している。今後は、上記の線量調査結果を踏まえ新規穿孔箇所を決定し、11月下旬から12月上旬にかけて穿孔作業を実施し、12月上旬から中旬にかけて新規穿孔箇所を調査する予定。
  - 工程表（循環注水冷却、使用済燃料対策、燃料デブリ取り出し準備）について
- 原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認するとともに、以下のコメント等を行った。
  - 1号機PCV内部調査に関し、ガイドパイプの挿入作業が終了次第、結果を説明するとともに、その後に予定している現場作業等については、進捗状況を適宜説明すること。
  - 本年10月6日に終了した3号機使用済燃料プール内調査について、結果が取りまとめ次第報告すること。

## 6. その他

資料：

- 1号機 PCV 内部調査にかかる干渉物切断作業の状況
- 2号機オペフロ内シールドプラグ穿孔部調査について
- 循環注水冷却スケジュール
- 使用済燃料プール対策スケジュール
- 燃料デブリ取り出し準備スケジュール